

環境科学院 地球圏科学専攻  
修士論文公開発表会プログラム

【第1日目】平成29年2月9日(木)

●座長:杉山 慎(雪氷・寒冷圏科学コース准教授)

- 9:30- 9:50 牧 和幸(大気海洋化学・環境変遷学コース)  
「黒潮域における鉄・主要栄養塩の分布と供給」
- 9:50-10:10 菅 彩乃(大気海洋化学・環境変遷学コース)  
「大気中におけるギ酸・酢酸の起源と気相-粒子相分配」
- 10:10-10:30 舘野 愛実(大気海洋物理学・気候力学コース)  
「中緯度の対流圏界面付近の擾乱と下層の降水の関係についての研究」
- 10:30-10:50 中谷 理愛(大気海洋化学・環境変遷学コース)  
「遊離アミノ酸および遊離単糖類添加に対する海洋従属栄養細菌群集の組成変化」

< 20 分 休 憩 >

●座長: 力石 嘉人(大気海洋化学・環境変遷学コース教授)

- 11:10-11:30 董 楽(大気海洋化学・環境変遷学コース)  
「Ratios of BC/CO, CH<sub>4</sub>/CO, and CO/CO<sub>2</sub> observed in Rishiri Island and Sapporo, northern Japan and their controlling factors」  
(利尻と札幌で観測された大気 BC/CO、CH<sub>4</sub>/CO、CO/CO<sub>2</sub> 比とそれらの支配要因について)
- 11:30-11:50 宮地 友麻(大気海洋物理学・気候力学コース)  
「太平洋の十年規模変動がインド洋に与える影響と温暖化による変化」
- 11:50-12:10 稲川 満穂実(大気海洋化学・環境変遷学コース)  
「溶存硫化ジメチル濃度測定に用いられるサンプリング手法の再評価」
- 12:10-12:30 加渡 佑輔(大気海洋物理学・気候力学コース)  
「数値実験による竜巻をもたらす寒冷前線の研究」

< お 昼 休 み 12:30-13:40 >

●座長:青木 茂(大気海洋物理学・気候力学コース准教授)

13:40-14:00 亀岡 敏明(大気海洋化学・環境変遷学コース)

「Photo-degradation of Marine Dissolved Organic Matter」  
(海洋溶存有機物の光分解)

14:00-14:20 Shakhmatov Ruslan (大気海洋化学・環境変遷学コース)

「Effects of snow cover change on taiga forest ecosystem」

14:20-14:40 鶴本 千尋(大気海洋化学・環境変遷学コース)

「日米間の貨物船を用いた北太平洋表層のハプト藻類の現存量と多様性の時空間変化の評価」

14:40-15:00 浅野 稜(大気海洋物理学・気候力学コース)

「西岸境界流続流ジェットに注目した大気海洋相互作用の研究」

< 20 分 休 憩 >

●座長:鈴木 光次(大気海洋化学・環境変遷学コース教授)

15:20-15:40 八田 和奏(大気海洋物理学・気候力学コース)

「地球温暖化の停滞(ハイエイタス)と海面熱フラックスの長期変化との関係」

15:40-16:00 光川 祐平(大気海洋物理学・気候力学コース)

「太平洋の塩分と熱収支の変化が赤道水温躍層に与える影響」

16:00-16:20 平野 洋一(大気海洋物理学・気候力学コース)

「Bering Slope Current とその周辺で生成する渦の季節変動」

16:20-16:40 森本 直矢(雪氷・寒冷圏科学コース)

「ネパールヒマラヤ・トランバウ氷河における 1980-2016 年の表面標高変化」

**【第2日目】平成29年2月10日(金)**

●座長:堀之内 武(大気海洋物理学・気候力学コース准教授)

9:30— 9:50 中野 雄登(大気海洋化学・環境変遷学コース)

「過剰窒素量指標 N2\*を用いた北太平洋亜寒帯海域及び南極海域における窒素収支の比較」

9:50—10:10 菊池 隼史(大気海洋化学・環境変遷学コース)

「ボルネオ島泥炭分析による過去 4000 年間の古環境復元」

10:10—10:30 木村 光佑(大気海洋物理学・気候力学コース)

「GPS 可降水量を用いた日本各地の可降水量の極値に関する統計解析」

10:30—10:50 秋武 琢也(大気海洋物理学・気候力学コース)

「総観規模の大気循環場が北海道内陸における霧の発生に与える影響」

< 20 分 休 憩 >

●座長:川島 正行(大気海洋物理学・気候力学コース助教)

11:10—11:30 小野 貴司(大気海洋物理学・気候力学コース)

「雲粒子ゾンデ CPS を用いた熱帯の雲の観測」

11:30—11:50 土屋 優子(大気海洋化学・環境変遷学コース)

「更新世におけるC3/C4植物植生比を制御する因子の検討」

11:50—12:10 石山 惇応(大気海洋物理学・気候力学コース)

「衛星 SAR 画像を用いたオホーツク海南部における海氷の力学的成長に関する研究」

12:10—12:30 田丸 直也(大気海洋物理学・気候力学コース)

「ベーリング海における海氷生産量のマッピングと経年変動に関する研究」

< お 昼 休 み 12:30-13:40 >

●座長:石井 吉之(雪氷・寒冷圏科学コース助教)

13:40-14:00 柑谷 大佑(大気海洋物理学・気候力学コース)

「南極海ケーブダンレーポリニヤにおける海氷生産量と高密度陸棚水の関係」

14:00-14:20 近藤 春彦(大気海洋物理学・気候力学コース)

「レーダと地上観測データを用いた降雪形成過程と電氣的活動度の関係解明」

14:20-14:40 水野 優(大気海洋化学・環境変遷学コース)

「春季の西部北太平洋亜寒帯域における溶存有機物の分布」

14:40-15:00 中根 基裕(大気海洋化学・環境変遷学コース)

「Distribution and dynamics of dissolved black carbon in marine environments」

(海洋における燃焼起源溶存有機物の分布と動態)

< 20 分 休 憩 >

●座長:吉川 久幸(大気海洋化学・環境変遷学コース特任教授)

15:20-15:40 古川 峻仁(雪氷・寒冷圏科学コース)

「グリーンランド南東ドームコアの水安定同位体比解析」

15:40-16:00 席 浩森(大気海洋物理学・気候力学コース)

「対流圏化学再解析データを用いた東アジア及び太平洋における成層圏対流圏大気交換の研究」

16:00-16:20 島田 光(大気海洋化学・環境変遷学コース)

「東シベリア永久凍土帯タイガ林カラマツの年輪酸素同位体比の変動要因」